

雲取山

山行日：2025.5.11-12

天候：晴れ後曇り

記：t h

コース：[11日]奥多摩駅/8:35－鴨沢/9:15－堂所/11:21/11:40－七ツ石小屋/12:37
－七ツ石山/13:22－ブナ坂/13:40－テント場/14:10－小雲取山/15:03－雲取山
/15:30－雲取山荘/15:55/[12日]6:15－小雲取山/7:10－テント場/7:40－ブナ坂
/8:05－巻道－マムシ岩/8:46－堂所/9:05－小袖乗越/10:30/10:50－鴨沢/11:15
50年前に三峰神社コースを歩いて以来、今回は石尾根を見る目的で鴨沢からピストンした。

奥多摩駅前の川苔山、鴨沢行きバス停は長蛇の列で臨時便も出た。鴨沢バス停から舗装路は30分ショートカットして登山道入口に、
これより緩やかに登ってゆく
歩きやすい道がつづいている

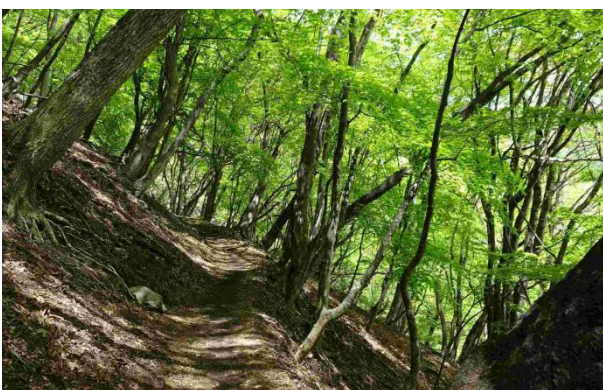


往來のあった生活路、石塔と山ノ神
これより朝敵となって追われた平将門の迷走ルート伝説地を行く
茶煮場



新緑の明るい日差しの中、巻いて行く

迷走ルート・風呂岩



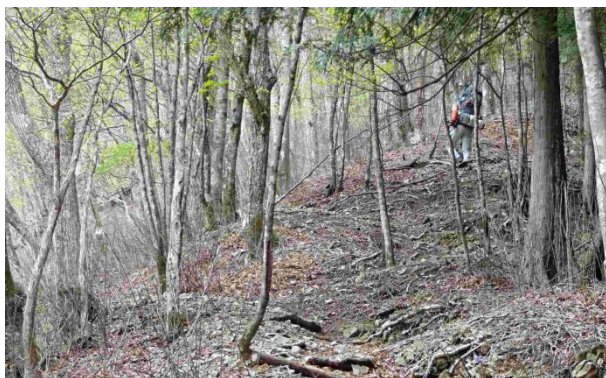
将門迷走ルート・堂所

緩やかな登山道もここまで。マムシ岩からセツ石山への本格的な登りの開始



脚にやさしくジグザグに頑張ってセツ石小屋へ

小屋裏がテント場と水場があり先行者はここでテント泊



登山道分岐にも水場あり 丹沢塔ノ岳大倉尾根と違って雲取山途中に 3 カ所の水場があり安心して行ける
小屋から 15 分で山火事延焼防止の広い
防火帯石尾根に乗る



さらに尾根を進みセツ石山神社前

無人のセツ石山、残念ながらガスが湧いてきて展望はイマイチ





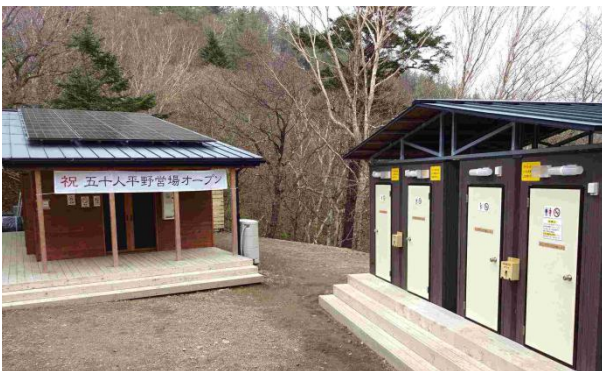
セツ石山から降りる途中雲取山が少し見えた？



降りたったところがブナ坂。広い尾根を進むと石尾根のシンボル、ダンシングツリー（踊る木）が正面に



新規に開設されたテント場、トイレ、管理棟(板敷は土足厳禁、内部見れず、運営等詳細は協議中との事)
セツ石山方面を見る



鴨沢からは緩やかな登りのみで、歩幅の合わない丸太階段は全くなく、急登ヶ所も
ジグザグに登れるようになっており、脚に優しい登山道である

小雲取山へ立ち寄り

ジグザグに登ってゆくと



小雲取山から 30 分で避難小屋で真上が雲取山山頂だった。 すぐ下に避難小屋があり、少し興覚めする



登り始めて 6 時間 カメラのシャッターを依頼する

石尾根北側はいきなり、ガレ道登山道の急降下



石尾根の稜線でも北側斜面となると全く異なる登山道であった。 25 分で雲取山荘、50 年振りに訪れた
頑張った自分に乾杯



一泊 2 食付きで @10,000

夕食は 18 時から、ご飯はお代わり自由



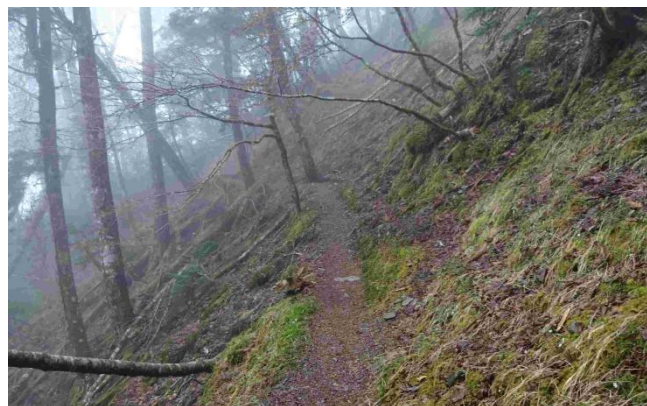
炬燵あり（行火使用）3人相部屋



朝食は 5:30 から



連休明け後でもあり小屋は空いていた トイレ、洗面所は外にて少し不便だが、建屋内にトイレ臭はなし
翌日天気予報通りに朝からガ空、雨具を着用して雲取山等は登らず巻いて早々に下山することにした

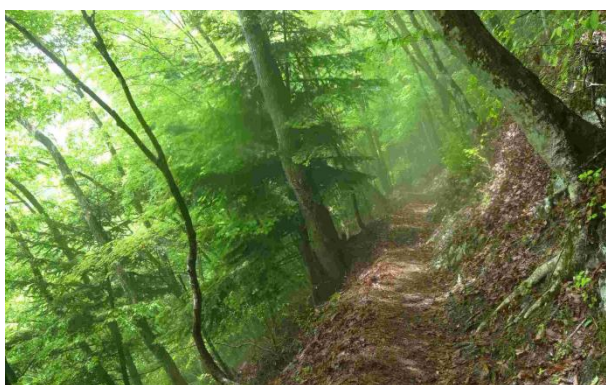


ブナ坂から七つ石山も巻道で（登っても巻いても時間は変わらない）



麓に降りてきたら陽がさしてきた

小袖乗越(自家用車終点)でゆっくり時間調整し身支度を整える



奥多摩は遠方ではあるが、鴨沢からは緩やかに巻いて高度を稼いで行く。セツ石山からの石尾根は一層美尾根。且つ水場も要所要所に3カ所もあり、非常に価値のある雲取山だった。気になるのはこれから田植えが始まり、水を沢山消費する割には奥多摩湖の水位が低かったのが気になった（満水率66%）宮ヶ瀬湖は83%

鴨沢バス停に無事下山

